

■第3回会議（7月30日）～懇話会との合同開催～

私たち協働ワーキングのメンバーは、市民参画協働懇話会の委員と3つのテーブルに分かれ、それぞれ意見を交換しました。テーマは、懇話会で策定に向けて議論している「(仮称)市民協働のまちづくり推進計画」と、ワーキングメンバーが作成を進めている「協働マニュアル」についてでした。

2つのテーマのうち、「協働マニュアル」についての意見を紹介します。

- 子どもから高齢者まで、だれもがわかるものに
- 協働事業の公募や、市民活動の公開プレゼンテーションの場を
- 実施した事業の振り返りができるように
- 市民・行政双方向の評価を
- 市民から行政への壁が低くなるように
- 活動するための場所の情報を など

■第4回会議（9月15日）

第3回会議で出た意見を元に、マニュアルの内容を検討しました。

また、8月末に開催された「京都府の協働・連携のルールを考えるシンポジウム」に参加したメンバーから感想などの報告がありました。内容は以下のとおりです。

- ルールやマニュアル等の作成は自治体主導ではなく、その過程に多くの主体が加わるべき。最後に共同で署名をするのも良い。
- 行政の専門用語を減らし、行政の上から目線をなくす努力をしてほしい。 など

長岡京市の協働マニュアルは、行政職員であるワーキングメンバーが中心となり作成しています。懇話会では意見をもらいましたが、その過程において市民参加が足りていないという部分は否めません。これについては、マニュアルを市民と活用する中で、柔軟に作り直すことも考えていきます。

【協働ってな～あに？その⑦】

協働についての疑問・質問を、“長にゃん”が明快に答えます。



市民側、行政側、それぞれの本音がおもしろいじゃ。

協働で：
お互い頑張ろう
かねがない

自立だよ
依存じゃないよ
きょうごうは

協働のヒント
話からでる
とりとめのない

まず協働
仲間作りが
たくさんの

参考：NPO 法人 おうみNPO 政策ネットワーク発行
「まちカタニュース」

* 次回の市民参画協働ニュースは1月頃に発行予定です。

* 協働に対する疑問・提案・思いなどは、お気軽に下記までお寄せください。

メールアドレス：shiminsankaku@city.nagaokakyo.kyoto.jp